

Merry Christmas & A Happy New Year!



CFNJの学生達

CFNU NEWS

クリスト・フォーザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院 2009.1・2月号 NO.131

「セカンド・チャンス」は リバイバルの鍵？



真理のみことば伝道協会主事
ウィリアム・ウッド師

学院講義

数年前から、日本のキリスト教会の中で、「セカンド・チャンス」と呼ばれる教理に関して、激しい議論が繰り広げられています。

人が生きている間にキリストを信じなくても、ハデスで悔い改めの機会が与えられるとする教えですが、その支持者たちは、「セカンド・チャンスは日本にリバイバルをもたらす」と強く主張しています。「福音を聞かずに亡くなった先祖はどうなるのか」という、しばしば伝道の妨げとなる問題に対して簡単に説明することができるからです。確かに、一般の人々が抱く疑問に答えることも必要ですが、もっと大事なのは、聖書の真理を正しく伝えることです。聖書に基づいていない教えを説いても、それによってリバイバルなどがもたらされるはずはありません。

「セカンド・チャンス」の聖書的根拠として挙げられる聖句の一つは、第一ペテロ3章19節です。

「その靈において、キリストは捕われの靈たちのところに行ってみことばを宣べられたのです。」
1ペテロ3：19

「セカンド・チャンス」の教理によると、イエス・キリストは死なれた後、ハデスに下って、ノアの時代の人々に福音を語られ、その結果、多数の人々が救われたということですが、この個所を注意深く見ていくと、幾つかの疑問が出て来ます。まず、「捕らわれの靈たち」が果たして、人間を指しているのか、ということです。ギリシャ語の「ピューマ」は、人間の靈に対しても、また御使いに対しても用いられます、一つのグループとして、「靈」とか、「靈たち」、あるいは「靈ども」という表現は通常、惡靈を指しています（マタイ8・16、マルコ3・11、1テモテ4・1）。この「捕らわれの靈たち」が惡靈を指しているということは、2ペテロ2章4-5節を見ても、明らかです。

「神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄（ギリシャ語：「タルタールス」）に引き渡し、さばきの時まで暗闇の穴の中に閉じ込められてしまわれました。また、昔の世界を赦さず、義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護し、不敬虔な世界に洪水を起こされました。2ペテロ2：4~5」
ここで分かるように、暗闇の穴の中に閉じ込められ

た御使いたちは、ノアの時代に神に逆らった「捕らわれの靈たち」なのです。「タルタールス」は、新約聖書のここにしか出てこない言葉ですが、ギリシヤ神話では、ハデスよりも下にある所と考えられていました。第一ペテロ3章19節には、「ハデス」という言葉はありません。「捕らわれの靈たちのところ」と書かれています。ですから、セカンド・チャンス説の釈義上の最初の問題は、無理矢理に、これを「ハデス」と読ませていることです。

次の疑問点は、「捕らわれの靈たち」に、本当に福音が伝えられたか、です。「みことばを宣べられた」とあるだけです。これはギリシヤ語の「ケリュソー」が使われており、単に「告げ知らせる」という意味です。ちなみに、「喜びのおとずれを伝える」という場合は、「ユーアンゲリゾー」が用いられます。キリストは捕らわれの靈たちにみことばを宣べられました。それが仮に「十字架による贖いが成し遂げられた」というメッセージだとしましょう。そこで、不可解な点は、地上の誰もこの良きおとずれをまだ聞かないうちに、どうしてノアのメッセージを拒んだ人々にその特権が与えられるのか、ということです。また、キリストによって福音が語られていたとするなら、どうしてその結果、何が起きたかということが記されていないのでしょうか。つまり、福音が語られていたのなら、救いのみわざがなされたはずです。しかし、救われる魂が起きたとは、どこにも書かれていないのです。

では、キリストはタルタールスにいる捕らわれの靈

たちに一体、どんなメッセージを送られたのでしょうか。勿論、断定はできませんが、彼らに対する勝利宣言だったと考えることが最も自然ではないでしょうか。

「イエス・キリストはその十字架の死によって、サタンとその諸々の惡靈どもに完全に打ち勝つてくださった。そのことは、タルタールスにいる靈たちにも宣言されて、動かぬ事実として認められた。」ペテロが言わんとしていたのは、このことではないでしょうか。実際に、このメッセージこそ、迫害によって苦しめられているクリスチヤンたちの慰めになるメッセージなのです。

ここで、もう一度、セカンド・チャンスを支持する人々の主張をまとめてみましょう。「捕らわれの靈たち」とは、ノアの時代に神に逆らった人間のこと、「捕らわれの靈たちのところ」とは、ハデスのこと。「みことばを宣べられた」とは、福音を伝えたということで、それによって多くの人々が救われた。これは、乱暴極まりない釈義だと言わざるを得ません。真のリバイバルは、真理の御靈によってもたらされます。そして、真理の御靈が働いてくださるのは、真理のみことばが忠実に語られる時です。

更に、「セカンド・チャンス」について知りたい方は、11月18日にCFNJ聖書学院で行なわれた講義DVD～3枚組、2,400円（送料別）又はウッド師の著書『セカンド・チャンスは本当にあるのか』をご参照ください。

予告 第13回 2009 Youth For the Nations IN CFNJ



●とき／2009年
5月29日～31日
●メッセージ／
西村希望（のぞみ）師
●場所／CFNJ聖書学院

YFNホームページ——
<http://www.yfnjapan.com/>

●西村希望師のプロフィール
1971年生まれ。1998年インヌエル聖宣神学院卒業。みどり野教会ユースバスター。教会は25年前にマタイ9：35-38『収穫は多いが働き手が少ない』のみことば受け、お友達から育て、主の働き人として送り出す教会になると、いビジョンをもって開拓が始められた。これまでに8名の伝道師が与えられ、現在12名の若者達が献身し、訓練を受けている。彼らに続くように次世代の子たちも同じ心が与えられ、教会の働きに仕え、大きな原動力となっている。
8年前から、念願であったチャーチスクールも始め、さらに働き人育成のための働きが展開されつつある。ユースの働きのメインは毎週日曜日に持っているユースワーシップで、60名ほどのユースが集まり、彼らのニーズにあつた表現の仕方で主を賛美し礼拝している。このユースが主によっていかされ、キリストの弟子となることを祈り、努力している。

2009 CALENDAR

義人の道は、あけぼのの光のようだ。

いよいよ輝きを増して真昼となる。 箴言4:18



デイビッド・ミドルトン氏撮影（北海道室蘭市在住）

1月 ●13日／3学期開始	JAN	2月	FEB	3月 ●6日／卒業式	MAR
日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土	
1 2 3		1 2 3 4 5 6 7		1 2 3 4 5 6 7	
4 5 6 7 8 9 10		8 9 10 11 12 13 14		8 9 10 11 12 13 14	
11 12 13 14 15 16 17		15 16 17 18 19 20 21		15 16 17 18 19 20 21	
18 19 20 21 22 23 24		22 23 24 25 26 27 28		22 23 24 25 26 27 28	
25 26 27 28 29 30 31				29 30 31	
4月 ●13日／入学式	APR	5月 ●29日～31日／YFN	MAY	6月	JUN
日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土	
1 2 3 4		1 2		1 2 3 4 5 6	
5 6 7 8 9 10 11		3 4 5 6 7 8 9		7 8 9 10 11 12 13	
12 13 14 15 16 17 18		10 11 12 13 14 15 16		14 15 16 17 18 19 20	
19 20 21 22 23 24 25		17 18 19 20 21 22 23		21 22 23 24 25 26 27	
26 27 28 29 30		24 25 26 27 28 29 30		28 29 30	
31		31			
7月 ●3日／1学期終了	JUL	8月	AUG	9月 ●6日／学院25周年記念会 ●7日／2学期開始	SEP
日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土	
1 2 3 4		1		1 2 3 4 5	
5 6 7 8 9 10 11		2 3 4 5 6 7 8		6 7 8 9 10 11 12	
12 13 14 15 16 17 18		9 10 11 12 13 14 15		13 14 15 16 17 18 19	
19 20 21 22 23 24 25		16 17 18 19 20 21 22		20 21 22 23 24 25 26	
26 27 28 29 30 31		23 24 25 26 27 28 29		27 28 29 30	
30		31			
10月	OCT	11月	NOV	12月 ●4日／2学期終了	DEC
日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土		日 月 火 水 木 金 土	
1 2 3		1 2 3 4 5 6 7		1 2 3 4 5	
4 5 6 7 8 9 10		8 9 10 11 12 13 14		6 7 8 9 10 11 12	
11 12 13 14 15 16 17		15 16 17 18 19 20 21		13 14 15 16 17 18 19	
18 19 20 21 22 23 24		22 23 24 25 26 27 28		20 21 22 23 24 25 26	
25 26 27 28 29 30 31		29 30		27 28 29 30 31	

World Prayer and Share Letter



とりなし手の皆様へ

世界のための祈り

チャールズ&ダイアン・グリコ



次期米大統領、バラク・オバマ氏のための祈り

黒人の大統領が選ばれたことは、黒人にとって良く、白人にとっても良いことです。ですから今この時においては、すべてのアメリカ人にとって良いことなのです。（将来については誰にも分かりません）この事によって、より多くの黒人の人々は、自分は完全にアメリカ人だと感じるでしょうし、アメリカの白人は人種差別的だと言う黒人たちはより少なくなるでしょう。アメリカのクリスチャンや保守的な人々は、オバマ氏の民族的背景には反対しておらず、むしろ彼が選出されたことは、アフリカ系アメリカ人に癒しをもたらすことを喜んでいます。しかし、オバマ氏の妊娠中絶や、家族や結婚に関するリベラルな政策がアメリカ合衆国の道徳への妨げになるのではという真剣な憂慮を抱えていることも事実です。カリスマ的リーダー、ダッчи・シーツ氏は次のように述べました。「この選挙結果は、アメリカで劇的な覚醒や究極的な改革を見ることができるという私の信仰を揺るがすことはありませんが、私たちは大きな痛みと損失を経てこれを手に入れることになるでしょう。神様への動かぬ信頼に立ち、自分たちを再編成して、改革を起こすために神様に戦略を求めなければなりません。」（2008年11月6日ダッчи・シーツ氏の声明）

（編集者注：私はオバマ氏に投票しませんでした。しかし2009年1月20日の就任式の後、彼は私たちアメリカ国民の大統領になります。オバマ氏が大統領として成功しようとしないと、私たちは信者として神様から、権威者のために祈るよう命じられています。私たちがこれを忠実に行なうなら、「王を立て、王を退ける」私たちの神様はリーダーの心を、ご自身の地上における永遠の目的に適うものと変えられるでしょう。）

伝道者ビリー・グラハム氏の90歳の誕生日祝い！

2008年11月7日、ビリー・グラハム氏は主への献身の人生を祝いました。1949年、ロサンゼルスで国際的に有名になって以来、世界中でイエス・キリストの福音を広げるために約60年間費やしていました。グラハム博士の息子フランクリン・グラハム氏は、現在、家庭をいかに「福音宣教センター」に変えるかと、世界中で信者を訓練しています。彼が率いているグラハム福音宣教団体のために引き続きお祈りください。（*CBNクリスチャン・ワールド・ニュース（2008年11月7日付）より）

国連で「異教徒間」の会合

サウジアラビアのアブダラ王が「異教徒間」の会合を後援した理由は、「異なる信仰や文化に橋を架けることを希望したもので、『諸宗教の中傷との戦い』と呼ばれる決

議案を示すため」とのことです。（これはある人々には少々滑稽に思われます。というのも、サウジアラビアは、ワハビ系イスラム教以外のあらゆる宗教活動を禁じているからです。）

アメリカの宗教的自由団体「オープン・ドアーズUSA」の代表カール・メラー氏は述べています。「サウジアラビアには宗教的許容はまったくありません。そこはイスラム世界の中でも、クリスチャンや他の宗教に対する最もひどい迫害国です。アブダラ王の決議案は、イスラム教国に、イスラム教を否定する者を迫害することを合法的に認める地球規模の「言論統制」のようなもので、それはまた、イエス様に祈ったり礼拝したり、信仰を近隣の人々に分かち合ったりすることを、攻撃だと解釈しかねません。

アメリカ法と正義センターのジェイ・セキュロー氏は、この決議案はイスラムに特別な立場を与えるように考案されていると信じています。そして、「結局のところ、これには宗教の自由を遵守するものは何もなく、そのなすところと言えば、イスラムを非難から引き離し、擁護することです。」

（イエス・キリストに従う者に、世界規模の迫害をもたらすであろう国連決議に影響を与えるあらゆる偽りの靈に対して祈りましょう。）

主を賛美します！ カストロ政権にもかかわらず、キューバの教会は成長しています！

共産主義国であるキューバで、教会は50年間の迫害を受けてきました。独裁者のフィデル・カストロは、無神論が国教であると宣言し、クリスチャンは逮捕され、時には殺されました。近年、キューバは緩和ってきており、教会はもっと自由に礼拝できるようになっています。今日、新しい革命がキューバを吹き抜けていますが、それは政治上のものではありません。

2008年6月にジョルギン市で行なわれた2夜にわたるクリスチャン・コンサートに1万人のキューバ人が参加しました。そのようなイベントはまだ珍しいのですが、10年前ではそういうことは全く許可されませんでした。キューバ人クリスチャンは、祈りこそが自分達の国に大きな違いをもたらしているのだ、と言っています。（CBNクリスチャン・ワールド・ニュース（2008年10月28日付）迫害を受けている世界中のキリストの体である兄弟姉妹のために祈り続けましょう。）

怖ろしい状況：経済恐慌が世界中に蔓延している中、私たちは信者として、私たちの現実であるキリストを認識しなければなりません。そして、怖ろしい状況は神様の約束を破ることはできないことを私たちは知っています！この騒然とした「終わりの時代」に揺るがない安全な岩としてキリストを受け入れていない人のために祈りましょう。彼らこそが最も困窮しているのです。■

主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、
主のあかはは確かに、わきまえのない者を貰くする。 詩編19:7

3学期の講義スケジュールと ゲストスピーカーのご案内

●卒業式（2009年3月6日 午前9時より）

●入学式（2009年4月13日 午前9時より）

2月9日(月)～13日(金) ダニエル・マカーティ師

ダニエル・マカーティ師は、家族と共に20年以上東南アジアで開拓宣教師として働く。ハッピー・ファミリー海外ミニストリーの創設者、又はディレクターとして、それぞれフィリピンとビルマで聖書学校を創立。現在、タイのチエンマイとアメリカのシカゴに住居を持つ。著書には、妻と8人の子供と共にアジアで宣教をしてきた証し、“Is God Cool or What!”がある。現在7人の子供と4人の孫がいる。

●全体講義
午前10:30～
12:30迄の2時間
13日のみ9:15から
の2時間

3月2日(月)～6日(金) 卒業式ゲスト

新宿シャローム教会牧師
稻福エルマ師

1944年、米国ハワイ州ホノルル市で日系三世として生まれる。1974年から東京都新宿区に新宿シャローム教会を始める。1982年、国内の最初の枝教会を生み出す。現在10教会に及んでいる。CFNJ聖書学院顧問。

●全体講義
午前9:15～
11:25迄の2時間

4月13日(月)～17日(金) 入学式ゲスト

ホープチャーチ主任牧師

ステイーブン・ケイラー師

アメリカ人の肉体に九州男児の血潮を持った情熱的説教者。イエスキリストを鮮やかに語り、礼拝を心から愛すると共に、聖書的で健全な教会と、純粋なクリスチャンを日本に建て上げるために、シェリー夫人と6人の子供たちと共に全力を注ぐ21世紀の牧師。

●全体講義
午前8:45～
10:55迄の2時間

3学期講義スケジュール表 1・2年コース

（2009年1月13日～3月6日）

（敬称略）

	月	火	水	木	金
1 時間目 AM9:15～10:10	新約聖書概論3 藤江 勇士	詩篇2 田中 博	セルグループの実践 三浦 雅範	山上の説教2 鍛治川利文	異端と現代 松原 望
2 時間目 AM10:30～11:25	新約聖書概論3 藤江 勇士	詩篇2 田中 博	セルグループの実践 三浦 雅範	礼拝者の資質 岡田留美子	異端と現代 松原 望
3 時間目 AM11:35～12:30	組織神学 鍛治川利文	説教学2 鍛治川利文	組織神学 鍛治川利文	説教學2 鍛治川利文	靈的権威 シェリー ジャンセン

アルプスコース

	月	火	水	木	金
1 時間目 AM9:15～10:10	リーダーシップの原則 グードル・ジェラルド	牧会カウンセリング3 小栗 昭夫	セルグループの実践 三浦 雅範	牧会伝道の実際 石田 吉男	教会の一一致と宣教の拡大 西森 昌二
2 時間目 AM10:30～11:25	リーダーシップの原則 グードル・ジェラルド	牧会カウンセリング3 小栗 昭夫	セルグループの実践 三浦 雅範	牧会伝道の実際 石田 吉男	教会の一一致と宣教の拡大 西森 昌二
3 時間目 AM11:35～12:30	ティスカッショングラス & 近郊の牧師	祈り 田中 博	祈り 田中 博	上級説教学 松原 望	上級説教学 松原 望

CMPコース

	月	火	水	木	金
3時間目 AM11:35～12:30	子供の怒りの予防と治療 ダイアン・グリコ	子供の怒りの予防と治療 ダイアン・グリコ	聖書の愛と性 稻本妃美子	ユースカウンセリング 岡田留美子	メビック (MEBIG) 内越 努
	PM13:30～14:30 午後			父の心をもつた神様 の家族に対する計画 ダイアン・グリコ	児童伝道 (1/16・23・30の3回) 池田 宏之
	PW13:30～15:30 午後				

選択課目

午後 PW13:30～15:30	ピアノクラス 英語（中級・上級） グードル・ジェラルド	CMP実習 ダイアン・グリコ	タンパリングクラス ドラムクラス チップ・ブラウン	実習 (必修) 鍛治川紀子
---------------------	-----------------------------------	-------------------	---------------------------------	---------------------

●ゲストスピーカーの授業は聴講無料（席上献金があります）ですが、アルプスコースとCMPコースの授業は有料となります。

学院の特徴

2009年度

新入学4月生募集中!

- ・毎朝の賛美礼拝
- ・世界各地からのゲスト講義
- ・個人能力を伸ばす為の多彩な選択科目
- ・充実した学ぶ環境
- ・卒業後のアメリカ留学制度
- ・2年に1度の海外宣教
- ・バランスのとれた科目
- ・超教派

ホームページ
cfnj.com

学院プロモーションVIDEO
配信中!



●毎学期行われるレクリエーション（北海道支笏湖畔）

- ★アルプス（牧師リーダー）コース
- ★1・2年コース
- ★CMP（児童・親業）コース
- ★短期コース
- ★通信・聴講制度

- ★演劇・ドラマコース
- ★タンバリンクラス
- ★ゴスペルフラダンスクラス
- ★ドラムクラス
- ★フラッグクラス
- ★ピアノクラス
- ★バナークラス
- ★英語クラスほか



●アルプス（牧師リーダー）コースの授業風景



●CMP（児童・親業）コースで教えるアルマ師



●朝の賛美と礼拝のとき

※詳しい資料ご希望の方は、学院事務局までお知らせ下さい。

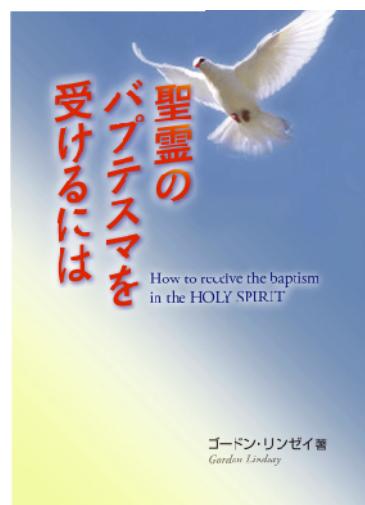
(復刻改正版) 「聖霊のバプテスマを受けるには」

ゴードン・リンゼイ著

無料
プレゼント！

「起源論争」

デニス・リンゼイ著



Gordon Lindsey
ゴードン・リンゼイ著

■ただいまCFNJでは、ゴードン・リンゼイ著「聖霊のバプテスマを受けるには」、デニス・リンゼイ著「起源論争」の小冊子をご希望の方に無料でプレゼントいたします。教会単位でお申し込みになる場合は50冊単位で、個人の方は1冊から10冊まで、お申し込みください。喜んでお送りします。ただし、送料は実費を負担してください。お申し込みは隨時受付中です。神様の祝福がありますように。



CHRIST
FOR THE NATIONS
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クリスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校
CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157

(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688

●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

